



平成31年 1月18日

各位

会社名 株式会社 リボミック  
代表者名 代表取締役社長 中村義一  
(コード番号：4591 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役執行役員経営企画部長 中村恵美子  
TEL. 03-3440-3745

## ビタミンC60 バイオリサーチ株式会社との共同研究開発契約書締結のお知らせ

当社は、ビタミンC60 バイオリサーチ株式会社（三菱商事株式会社の子会社、以下、「ビタミンC60社」）との間で、化粧品原料候補の創製・開発に関する共同研究開発契約を締結しましたので、お知らせ致します。

### 1. 業務提携の理由及び内容

当社では、従前より、当社の創薬プラットフォーム「RiboART システム」を用いた医薬品開発の推進と共に、その技術価値を最大化すべく、化粧品や診断薬等の領域における早期の製品化を目指し、事業を推進してまいりました。

そして、この度、強く持続性のある抗酸化・抗炎症力を持つことで有名な「フラレン」化粧品原料を製造販売し、次の柱となる化粧品原料の研究開発も進めていたビタミンC60社との間で、事業提携に関する協議を重ね、この共同研究開発契約を締結するに至りました。

本契約は、ビタミンC60社が開発を目指す化粧品原料ターゲットに対して、「RiboART システム」を用いて、当社が化粧品原料候補を創製し、ビタミンC60社が当社と協力をして、化粧品原料としての開発を進めるというものです。

ビタミンC60社の林源太郎代表取締役社長は、「リボミック社が創薬で培った斬新な技術を化粧品分野に応用することと、当社がフラレンを化粧品原料として独自開発することで培った研究開発力を組み合わせることで、これまでにない画期的な化粧品成分を開発できる可能性を確信しております。開発した化粧品成分が、フラレンとのシナジー効果を生み出し、ゆくゆくは当社の大きな事業の柱となるよう期待しております。」と述べています。

守秘義務の関係により、この度の契約内容の詳細は非開示とさせていただきますが、当社は、ビタミンC60社より、研究期間である契約締結後2年間で研究費として1500万円を受領するとともに、マイルストーンに応じたマイルストーンペイメントを合わせ、総額で3000万円を受領いたします。さらに、製品が上市された場合には、別途締結されるライセンス契約に基づく報酬を受け取る予定です。

尚、本共同研究開発契約締結により、当社の新規用途開発の第一歩を踏み出しましたが、今後も新規用途領域の事業開発を推進してまいります。

## 2. 業務提携の相手先の概要

(1) 名称	ビタミン C60 バイオリサーチ株式会社	
(2) 所在地	東京都中央区八重洲 1-3-19 辰沼建物ビル 9F	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 林 源太郎	
(4) 事業内容	化粧品原料の製造・販売	
(5) 資本金	3 億円（三菱商事株式会社 100%出資）	
(6) 設立年月日	平成 15 年 7 月 29 日	
(7) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	記載すべき事項はありません。
	人的関係	記載すべき事項はありません。
	取引関係	記載すべき事項はありません。
	関連当事者への該当状況	記載すべき事項はありません。
(8) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態	経営成績及び財政状態については、相手先の要請により非公表とさせていただきます。	

## 3. 日程

(1)	取締役会決議日	平成 31 年 1 月 18 日
(2)	契約締結日	平成 31 年 1 月 18 日
(3)	事業開始日	平成 31 年 2 月 1 日

## 4. 今後の見通し

本件が当事業年度の業績に与える影響は、現在精査中であり、業績予想を修正する必要がある場合には、改めて公表いたします。

### ビタミン C60 バイオリサーチ株式会社について

ビタミン C60 社は、三菱商事の子会社として平成 15 年に設立された、フラーレンを化粧品原料として製造販売する世界で唯一のメーカーです。このフラーレンという素材は、強く持続性のある抗酸化力、抗炎症力等の様々な力を持っており、このフラーレンを核にしなが、独自の研究開発と顧客サービスにより、「魅力にあふれた製品とサービスを世の中に広め、世界中の人々の美と健康に貢献」することを目指しています。

<http://www.vc60.com/>

### 株式会社リボミックについて

リボミックは、創薬バイオベンチャーとして、次世代医薬品としての開発が期待される核酸医薬の一種であるアプタマー医薬品の開発をコアな事業として取り組んでいます。当社のアプタマー開発の技術プラットフォームである RiboART システムは、様々なアプタマー医薬品の開発に利用できます。リボミックは、疼痛、眼障害、骨疾患など、幅広いアンメットメディカルニーズをターゲットとして創薬に取り組んでいます。また、当社の RiboART システムを創薬以外の分野にも応用し、アプタマーの医薬品以外での新規用途開発にも取り組んでおります。

当社についての詳細は下記をご参照ください。

<http://www.ribomic.com>

お問い合わせ: <https://www.ribomic.com/contact.html>

以上